

第 84 回大分県発明くふう展
作 品 説 明 書

記入不要

【作品名】

配線分別くん

【作品の大きさ】 縦 (38) cm 横 (30) cm 高さ (33) cm

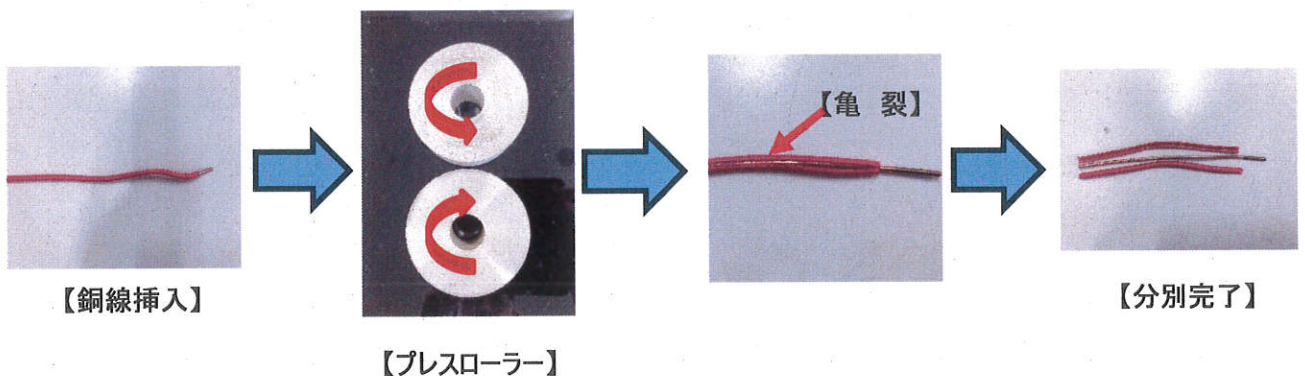
【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、くふうした点、苦労した点など)

本校は毎年第二種電気工事士資格にチャレンジしている。その中で技能試験練習の配線処理に困っている。金属や不燃・可燃物の分別は毎年の課題となっており、一般的には電工ナイフやカッターを用い「銅線」と「被覆」を分別し処分している。しかしその過程で刃物を多く使うことから「ケガ人」が絶えない。

この作品は安全かつ効率的に被覆をはがすことができます。またプレス部の「ローラー隙間」が微調整できるので各種の線形にも対応できます。この「配線分別くん」を使えばケガ人「ゼロ」で分別作業がはかどります。

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)

- ① 電源をONにするとローラーが回転し始める。(回転数の調整も可能)
- ② 配線挿入口から被覆付きの銅線を挿入する。
- ③ 上下のローラーに押しつぶされた銅線被覆が「亀裂」の入った状態で装置の排出口から出てくる。
- ④ 銅と被覆を手ではがし分別完了



◆作品制作者◆

学校名	大分県立国東高等学校(3 年)	氏 名	久保 佑樹
学校名	大分県立国東高等学校(3 年)	氏 名	上野 陽菜
学校名	大分県立国東高等学校(2 年)	氏 名	堀 龍貴

※ 「作品説明書」は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送、FAX にて提出ください。

※ 植物・動物・食品・水等の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。

※ 個人(一般の部)の方は、氏名のみご記入ください。